

2022年11月1日
南海電気鉄道株式会社
南海不動産株式会社

「外国人との共生」戦略を推進
南海電鉄が海外IT人財紹介サービス「Japal」を南海不動産から事業譲受
～AI 通訳機「POCKETALK®(ポケットーク) W」を期間限定で無償提供開始～

南海電気鉄道株式会社(社長:遠北 光彦、以下「南海電鉄」)は、2022年11月1日(火)、100%子会社である南海不動産株式会社(社長:村上 一久、以下「南海不動産」)から海外IT人財紹介サービス「Japal」事業を譲り受けましたのでお知らせします。

「Japal」は、社会課題となっている日本のIT人財不足の問題を解決することを目的に、南海不動産が2021年2月に開始した海外IT人財の紹介サービスです。

近年、IT人財輩出新興国として注目を浴びているネパールの高度人財に着目し、システム開発の実務経験が豊富な即戦力のプロ人財の紹介に加えて、海外人財採用時の煩雑な手続きや、就労後の定着支援も力を入れています。

南海電鉄では今春に発表した中期経営計画「共創140計画」において、「沿線への誇りを礎に、関西にダイバーシティを築く事業家集団」を2050年の企業像として位置付けており、中長期的に外国人が住みやすいまちづくりを行い、外国人との共生を実現するべく本事業を譲り受けました。今後は、鉄道会社のブランド、ネットワーク等を活用した事業成長を図るとともに、総合生活企業として、グループ全体のシナジーを考えた事業戦略の推進等、さらなる事業拡大に努めてまいります。

さらにポケットーク株式会社(社長:松田 憲幸)と連携し、AI通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)W」の期間限定の無償提供により、高度外国人財の採用・定着・戦力化に取り組む企業の支援サポートを行います。

詳細は別紙のとおりです。



南海グループにて採用したネパール人財

「Japal」の特徴 ◆詳細はこちら:<https://japal-nankai.com/>

- ① システム開発経験豊富(実務経験3～7年)で即戦力のプロ人財をご紹介!
欧米等のシステム開発経験のあるIT人財を多数リストアップしています。
- ② 産学連携によるビジネスレベルの日本語教育および日本文化教育を実施!
南海電鉄がネパール国内で運営委託する日本語学校で、日本語・日本文化教育を実施します。
日常会話レベルの日本語教育は無料、来日後のビジネスレベルの日本語はオプションにて教育します。
- ③ 海外人財を採用したことがない企業でも安心してご利用できます!
人財紹介だけでなく、海外人財採用時の煩雑な手続きや、就労後の定着支援にも力を入れています。

1. これまでの実績

2021年2月に開始した本事業はこれまで、大阪、兵庫、和歌山、東京、福岡と日本全国の企業での導入実績があります。コロナ禍において、アナログからデジタルへと急加速し、DX 推進や IoT 化は避けては通れない経営課題になっています。これらの外的環境要因を背景に、IT 人財は IT 企業で働くというこれまでの考え方に加えて、ベンチャー企業、メーカーを中心とした中小企業等、会社規模や業態を問わずに導入実績は拡大しています。

また当社グループでも IT 人財の安定的な雇用は喫緊の経営課題の一つです。実際に、南海電鉄 DX 推進部のシステム開発業務を担う南海システムソリューションズ株式会社においてネパール人財の雇用を開始し、株式会社南海エクスプレスでも雇用(2023年2月頃来日、就業開始)予定です。

さらに総合生活企業である当社グループの強みを活かすため、住居については南海不動産から提供するなど、優秀な人財を紹介するだけでなく定着支援に至るまで幅広くサービスを展開しています。

2. 「Japal」が提供できるIT人財について

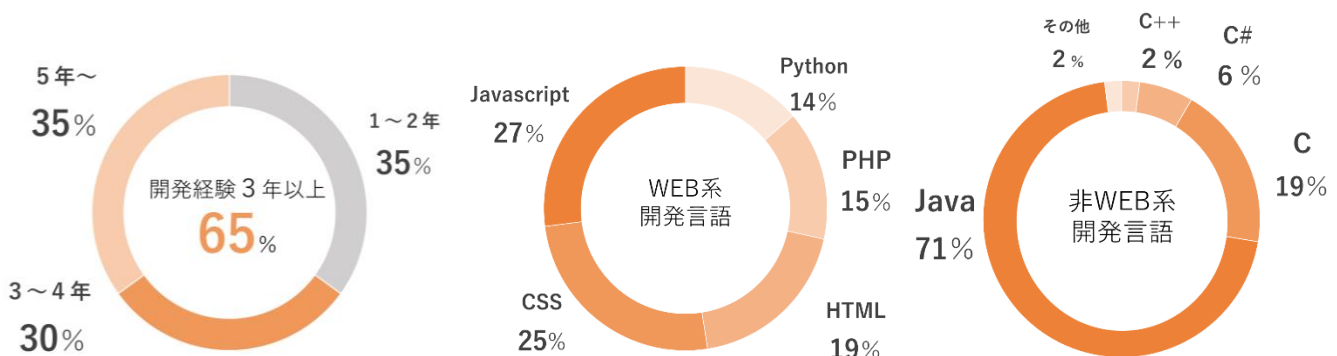
IT 人財輩出新興国として注目を浴びているネパールにおいて、トップクラスの大学を卒業し、ネパール現地の IT 企業で開発実績のある即戦力人財を紹介できることが最大の強みです。

ネパールは欧米や、オーストラリアでの開発実績が豊富にあり、隣国インドの影響を受けながら IT 産業に力を入れています。海外人財を活用している日本企業が、カンントリーリスクをヘッジするために、アジアの他の国々と同等水準の開発能力があること、コストパフォーマンスに優れている点などを評価して、ネパールの人財を雇用するケースが最近では増加しています。

また「Japal」は、鉄道会社としての信用を元に、前述した通り欧米などで働くことができる高いレベルの IT 人財をリストアップしています。



「Japal」人財が日本国内で働く様子



3. 語学力について(産学連携の教育モデル)

ネパール人は英語がビジネスレベルです。また母国語であるネパール語に加えてヒンディー語も話せます。

日本語について、「Japal」ではネパール国内にて無償で日本語教育と日本文化教育を提供する日本語学校を、TERAKOYA Academia, Inc.に運営委託しています。ここで日常会話レベルの日本語(日本語能力試験 N4 相当)教育を行っています。また日本の商習慣や文化も教育しており、アメリカやヨーロッパの IT 企業で働けるレベルの高水準な IT 人材に対して、「日本を好きになってもらう工夫」を行っています。



関西大学国際部 池田佳子教授

来日後の日本語教育については、就業と並行して実施できる日本語教育カリキュラムを提供しています。これは一般社団法人 Transcend-learning(代表理事:関西大学国際部教授池田佳子)と産学連携モデルにて提供するハイブリッド型(オンライン対面と e-learning)日本語学習です。本カリキュラムは一般的な日本語能力試験である JLPT だけでなく、さらにその先のビジネスレベルの日本語教育ができる検定試験である BJT を教育できるため、日本人と遜色ないビジネスレベルの日本語を話せるレベルまで教育をすることができます。

4. 海外人材を雇用する際の煩雑な手続きおよび就労定着支援について

外国人雇用への不安から、結果として海外人材の導入が進まない日本企業は多数あります。「Japal」ではこれらの不安をすべてサポートできる体制が整備されています。ビザ申請は顧問行政書士に、住居提供は南海不動産等と連携して対応します。また来日時点における空港までのピックアップや、住民票の登録、SIM カード手配、口座開設などの実務的なサポートや、家具や家電の使い方説明までも含めたすべてが本サービスにてサポート可能です。



来日後の住居にて家電の使い方を説明している様子

5. AI 通訳機「POCKETALK®(ポケットークW)」の活用(期間限定・無償提供)について

「Japal」における来日直後の日本語能力は日常会話レベルであるため、業務時間外においては会社でのサポートが不要なレベルです。来日後の日本語教育に加えて今回、AI 通訳機「ポケットークW」を無償で提供するサービスを開始します。(期間限定で予告なく終了予定)

海外人材が定着するために日本語能力の向上は必須ですが、その向上をさらにサポートできる AI 通訳機「ポケットークW」を是非ともお試しください。

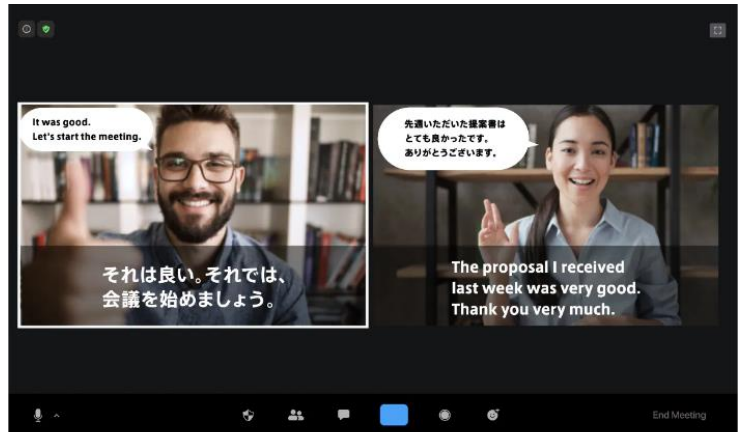


無償で提供する
AI 通訳機「ポケットークW」

6. AI 翻訳・字幕ソフト「ポケットク字幕」における実証実験について

IT 人財(システムエンジニアやプログラマー)の開発会議はオンライン会議で行われるケースが多く、その際にも日本語の語学力は必須です。そのような時に AI 翻訳・字幕ソフト「ポケットク字幕」を使えば、普段使っているオンライン会議システムが映画の字幕のように表示されます。オンライン上の会議で話した外国語も翻訳され、通訳不要でスムーズに会議ができるのが特徴です。

「Japal」では南海システムソリューションズ株式会社において、AI 翻訳・字幕ソフト「ポケットク字幕」を活用し、オンライン上での業務の指示出しや普段のコミュニケーションが円滑にできるかについて検証する実証実験を開始します。日本市場における海外人財の雇用促進のため、南海グループでオンライン会議における課題解決に取り組みます。



実証実験で使用する AI 翻訳・字幕ソフト「ポケットク字幕」

7. 「Japal」が目指すもの

「Japal」は人財紹介サービスですが、高度外国人財と企業を結びつけ、企業が新しい事業価値を生み出すプラットフォームでもあります。経験豊かな海外 IT 人財が、企業の DX の中核として働き、新しい事業価値を生みだします。

また、「Japal」は地域における海外 IT 人財との共生を促進し、新しい地域社会を創造します。多様な人々が同じ地域で生活する。多様な価値観を受け入れる。「Japal」はそのような働きやすく、住みやすい地域社会、“DiverCity”(多様性あふれる街)の実現に繋げる「ダイバーシティプラットフォーム」を目指します。

8. 「Japal」のロゴに込められた想い

繋がり歩む。様々な形を持った人々が、繋がる、結ぶ。そして共創していく仲間と歩んでいく様子を表現しています。またカラーには南海のコーポレートカラーを使用しつつ、様々な色が共創している様子を表しています。



9. TERAKOYA Academia,Inc.について

「Japal」ではネパール国内にて無償で日本語教育と日本文化教育を提供する日本語学校を、TERAKOYA Academia, Inc.に運営委託しています。「TERAKOYA Academia,Inc.」は、ネパールの大学や政府関係者とも深いネットワークがあり、日本での就業・留学経験もある代表のライ・シャラドが、既にネパール国内で2校(生徒数500名以上)の初等中等教育学校を運営している実績を基に、「Japal」における日本語・日本文化教育施設運営を担っています。「約束を守る、時間を守る。」日本では当たり前だが、世界では当たり前ではない素晴らしい日本文化「和の魂」をネパールの子供たちに教育したいというビジョンを持ち、世界にはない日本独自の素晴らしさをネパール人に知ってもらいたいと考えています。

<会社概要>

会社名: TERAKOYA Academia, Inc.
 代表: 代表理事CEO Rai Sharad
 所在地: Dhapasi, Kathmandu, Nepal
 資本金: US\$ 50,000
 設立: 2017年2月10日



日本での就職先が決まっている
 Japal 人財が日本語教育を受けている様子



TERAKOYA Academia,Inc.で働く人たち

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、4番、5番、8番、10番、11番、17番に繋がるものです。



以上